

神通川水系流域治水プロジェクト【位置図】

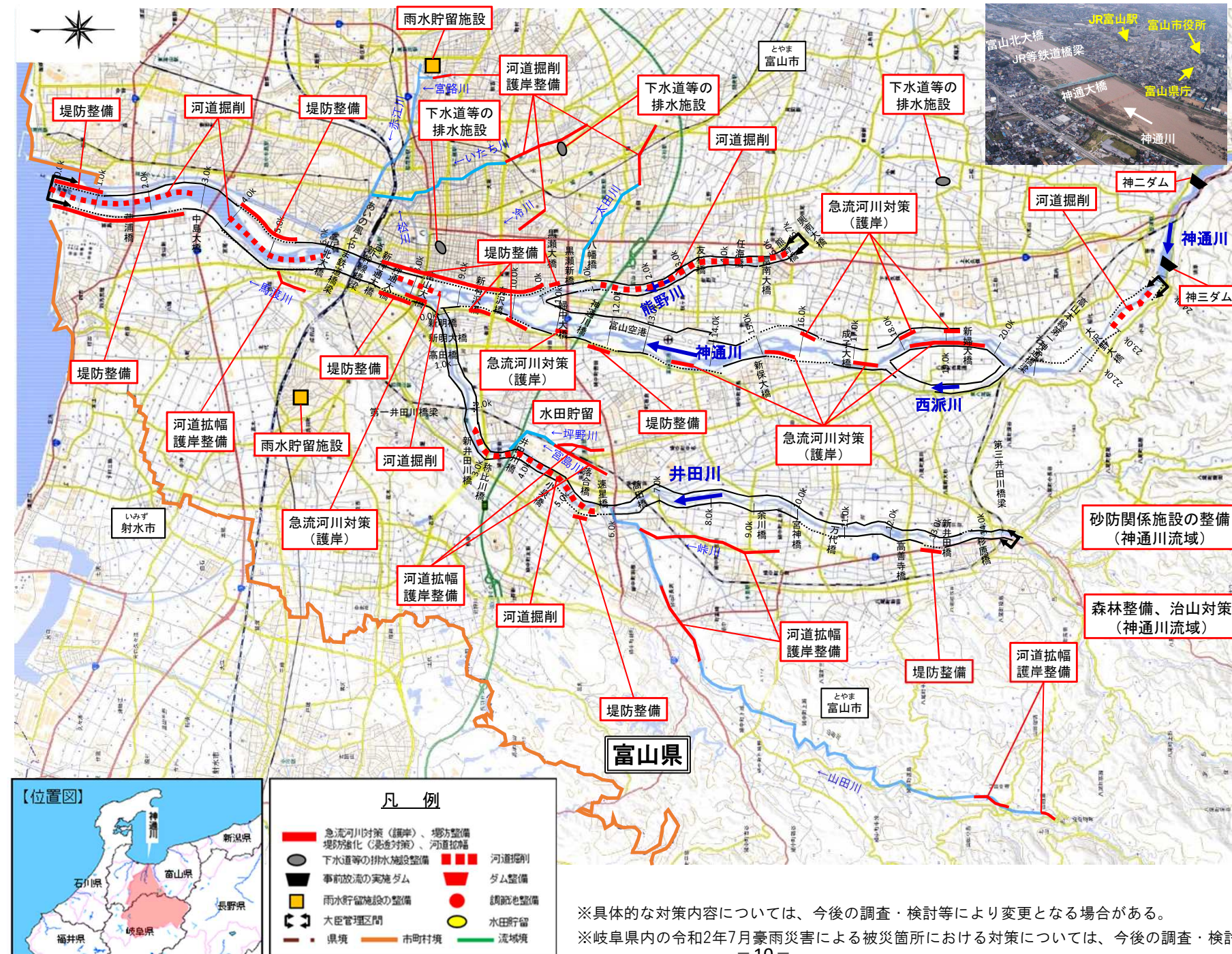
～上流・下流が一体となった浸水被害解消のための流域治水対策の推進～

- 令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、神通川水系においても、事前防災対策を進める必要がある。
- 神通川流域は、富山県の経済・社会の中心地域となっている反面、「我が国屈指の急流河川」であることから、洪水流のエネルギーが非常に大きく、中小洪水でも堤防が侵食し、決壊する危険がある。また、熊野川合流点付近から下流区間においては、堤防断面が不足するなど流下能力が不足しており、一度氾濫すると氾濫流は拡散して広がり、広範囲に被害がおよぶ等の水害リスクの高い地域である。
- このため、急流河川対策(護岸整備)や堤防整備、河道掘削、調整池整備、砂防、森林整備・治山対策、利水ダムによる事前放流の実施、水田貯留、防災指針策定、洪水等リスクの現地表示やタイムラインといったツールによる水害リスクの周知等を実施する。
- これらの取り組みにより、国管理区間においては、戦後最大の平成16年洪水と同規模の洪水が発生しても家屋浸水を防止し、流域における浸水被害の軽減を図る。



神通川水系流域治水プロジェクト【富山県内詳細図】

～富山市街地を洪水から守るための流域治水対策の推進～

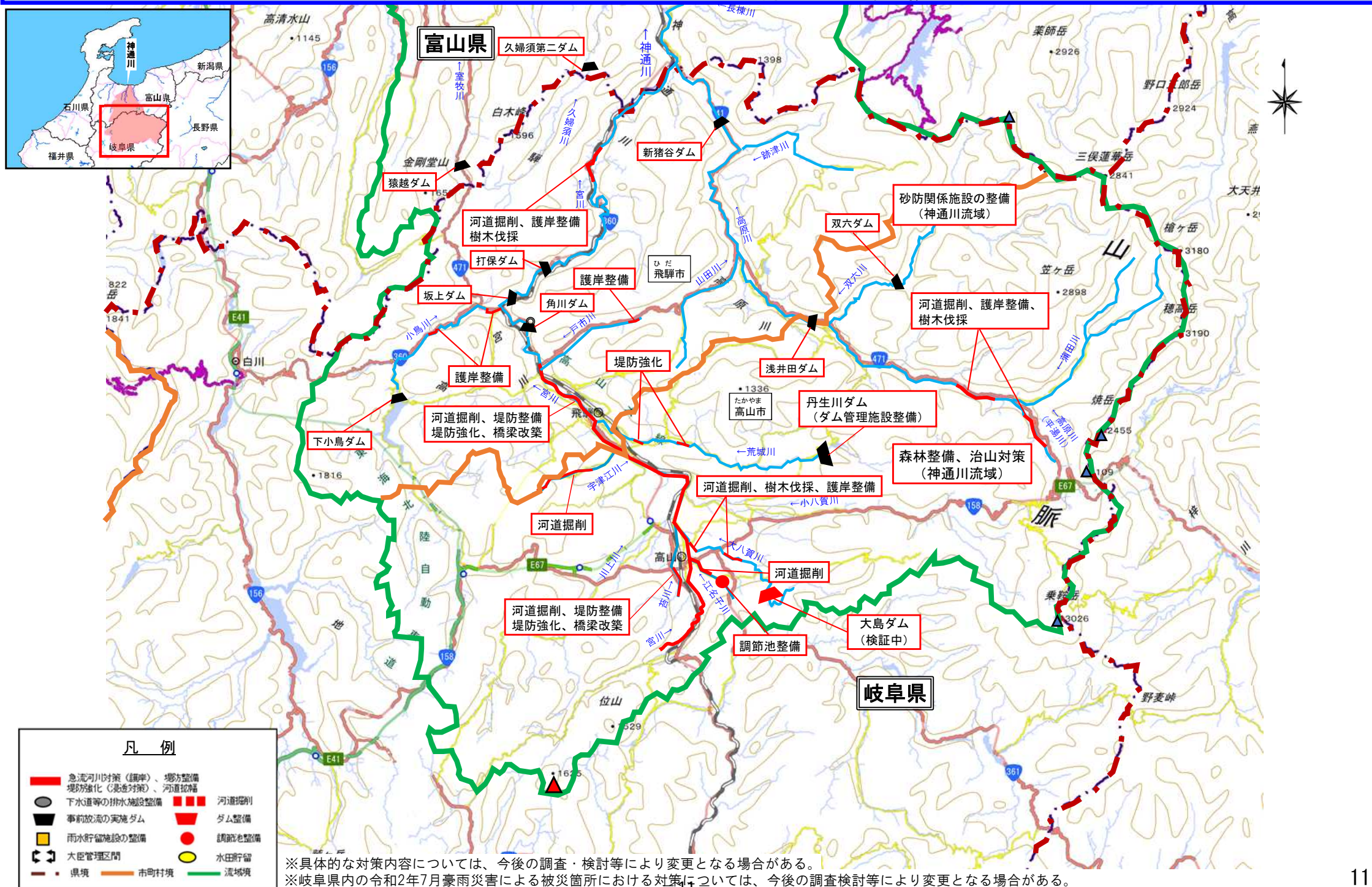


※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

※岐阜県内の令和2年7月豪雨災害による被災箇所における対策については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

神通川水系流域治水プロジェクト【岐阜県内詳細図】

～富山市街地を洪水から守るための流域治水対策の推進～



神通川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～上流・下流が一体となった浸水被害解消のための流域治水対策の推進～

神通川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町村が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。

【短 期】国管理区間における神通川右岸中流部において、富山市街地重点防御築堤事業の堤防整備を完成させるとともに、左岸上流部の急流河川対策を完成させることで富山市街地を保全する。

併せて、立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組、洪水ハザードマップの配布、マイ・タイムラインの作成及び支援、要配慮者利用施設避難確保計画の作成及び支援などを実施する。

【中 期】左岸中流部における急流河川対策及び本川右岸下流部の堤防整備を完成させる。また、井田川において流下能力不足解消のための堤防整備を促進させる。

【中長期】井田川の堤防整備を完了させるとともに、本川右岸上流部の急流河川対策及び熊野川の堤防整備等に着手し、流域全体の安全度向上を図る。

【ロードマップ】

区 分	対策内容	実施主体	工 程		
			短 期	中 期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	流下能力不足解消のための堤防整備(富山市街地重点防御築堤事業等)、河道掘削を行い富山市街地を守る	富山河川国道事務所			
	流水の強大なエネルギーに対する急流河川対策	富山河川国道事務所			
	流下能力不足解消のための河道拡幅、護岸整備、河道掘削など	富山県、岐阜県			
	砂防関係施設の整備	神通川水系砂防事務所、富山県、岐阜県			
	森林整備、治山対策	富山及び飛騨森林管理署、富山及び岐阜水源林整備事務所、富山県、岐阜県			
	雨水貯留施設の整備、下水道等の排水施設の整備	富山市			
被害対象を減少させるための対策	立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組(防災指針策定など)	富山市	立地適正化計画への防災指針の記載と取組など		
	多段階な浸水リスク情報の充実	富山河川国道事務所			
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	ハザードマップの作成・配布 洪水等リスクの現地表示、水位計・監視カメラの活用	富山河川国道事務所、富山県、岐阜県、富山市、高山市、飛騨市			
	マイ・タイムラインの作成及び普及 要配慮者利用施設避難確保計画の作成及び普及 避難訓練への住民参加、防災教育(出前講座の活用)	富山河川国道事務所、富山県、岐阜県、富山市、高山市、飛騨市			
グリーンインフラの取組	自然環境の保全・復元などの自然再生	富山河川国道事務所、岐阜県			
	治水対策における多自然川づくり	富山河川国道事務所、富山県、岐阜県			
	自然豊かな森林づくり	富山及び飛騨森林管理署、富山及び岐阜水源林整備事務所、富山県、岐阜県			
	自然環境が有する多様な機能活用の取組み	市町村等			

気候変動を踏まえた更なる対策を推進

※スケジュールは今後の事業進捗 によって変更となる場合がある。

【事業規模】

■河川対策

全体事業費 約 8 2 8 億円

■砂防対策

全体事業費 約 4 4 4 億円

■下水道対策

全体事業費 約 3 9 億円

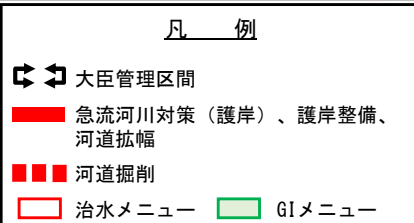
神通川水系流域治水プロジェクト【グリーンインフラ】

～上流・下流が一体となった浸水被害解消のための流域治水対策の推進～

●グリーンインフラの取り組み 『サクラマス等を育む神通川本来の豊かな河川環境の再生』

- ▶ 神通川は、富山市内を流れる富山県下最大の一級河川であり、地域住民の憩いの場として親しまれている。その一方で、神通川を代表する魚として知られているサクラマスが減少するなど、神通川水系の豊かな自然環境の一部が失われつつある。
- ▶ サクラマス等を育む神通川本来の豊かな河川環境を再生するため、今後概ね30年間で環境教育の促進などにより地域との関係強化を図りつつ、水際環境の創出によるサクラマス等の生息環境の再生をするなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。

【位置図】



●自然環境の保全・復元などの自然再生

- ・サクラマスなどの生息環境の創出
- ・連続性の回復（魚道の点検・機能維持）

●治水対策における多自然川づくり

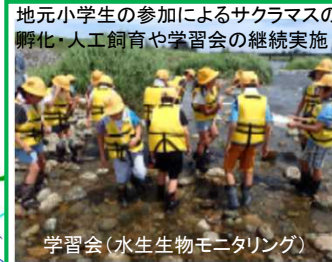
- ・生物の多様な生育環境の保全・創出

●自然豊かな森林づくり

- ・森林整備、治山対策

●自然環境が有する多様な機能活用の取組み

- ・住民のニーズに応じた多様な利用空間の創造
- ・小学校などにおける河川環境学習
- ・大学などとの協働による幼魚の生育・生息場の整備



地元大学などとの協働による幼魚の生育・生息場の整備(NPO、大学、研究機関、漁協、河川管理者等)



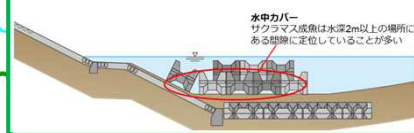
サクラマスなどの生息環境の創出(多自然流路)

トミコ属淡水型やイトモなどの沈水植物が生息できるワンド・たまり、サクラマス幼魚などが生息できる細流や、産卵環境を創出



サクラマスなどの生息環境の創出(水中カバー)

サクラマスなどが身を隠せる間隙を創出し、魚類の生息環境の向上を図る



連続性の回復(魚道の点検・機能維持)

約180名の県民をフィッシュウェイ・サポーターに委嘱し、魚道カルテを用いて点検を実施。その結果に基づき修繕・改修を行っている。



【全域にかかる取組】

- ・地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援

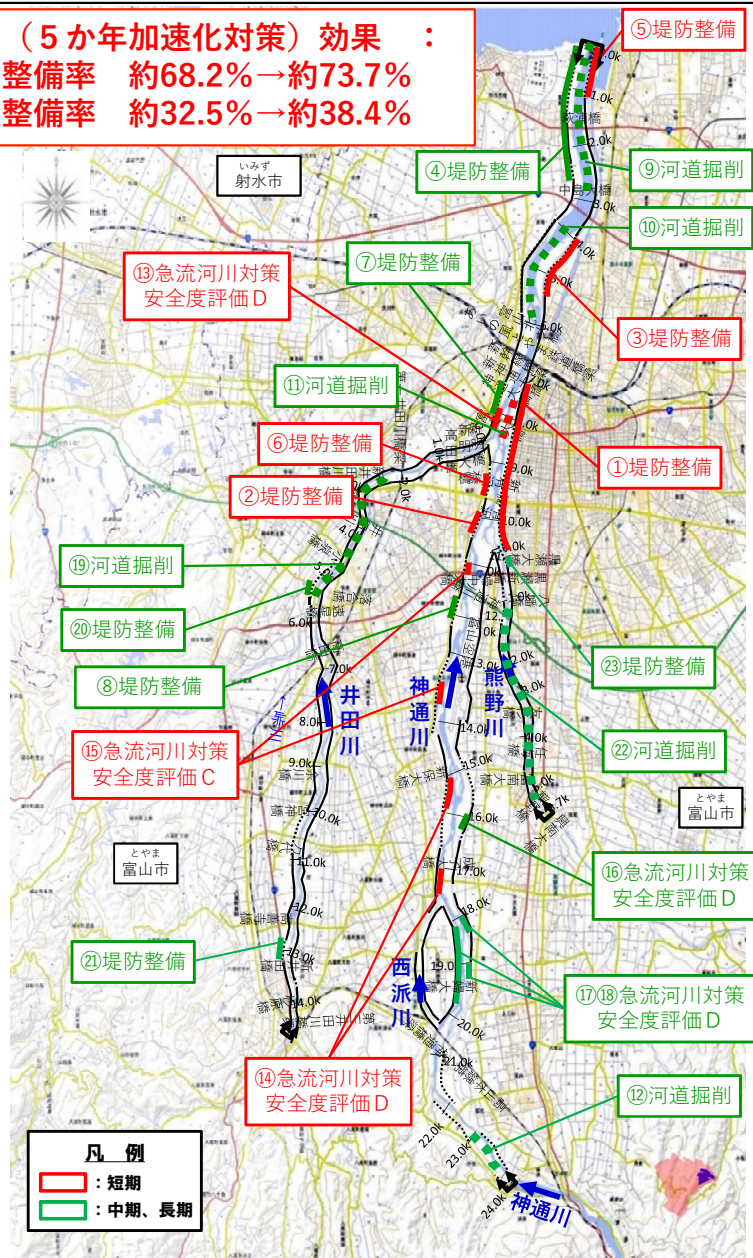
※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

神通川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

～上流・下流が一体となった浸水被害解消のための流域治水対策の推進～

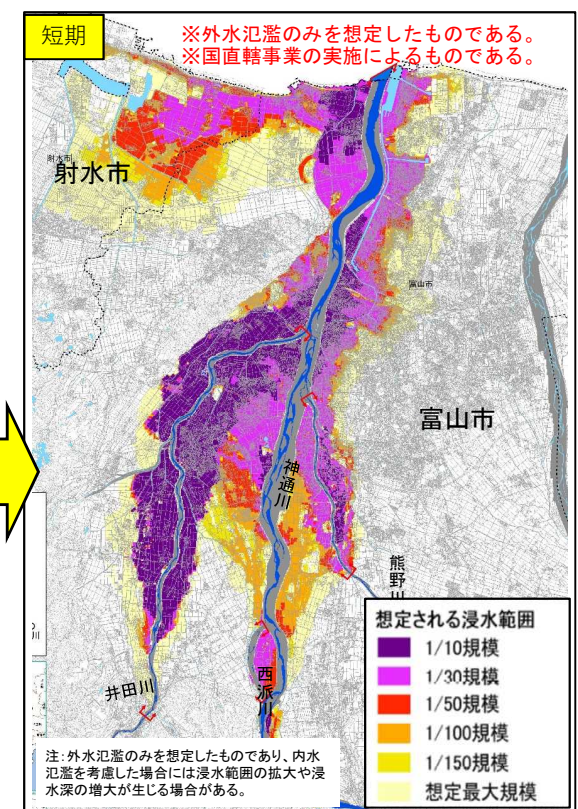
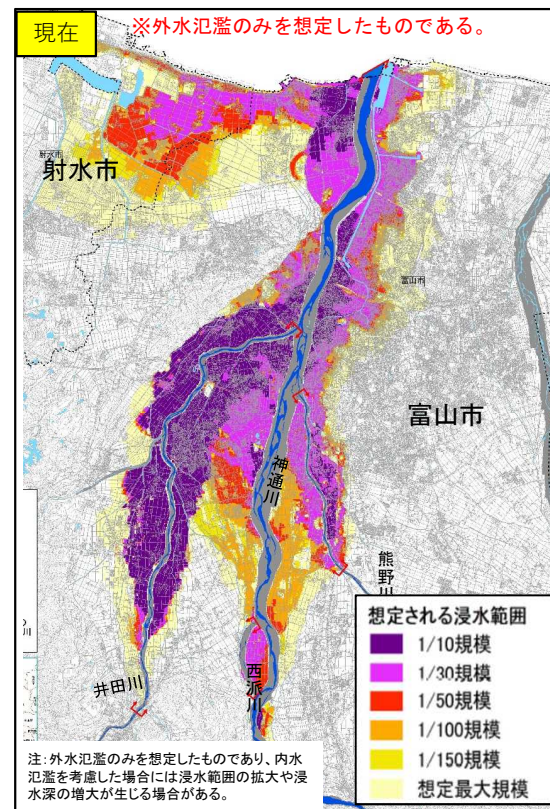
安野屋地区、有沢地区、牛島地区、岩瀬地区の築堤工事（高さ対策）が完了することにより、堤防強化が図られる。
成子地区、五福地区、添島地区の急流河川対策が完了することで、神通川左岸の堤防の侵食決壊による浸水被害を低減することが可能

短期整備（5か年加速化対策）効果：
河川整備率 約68.2%→約73.7%
質的整備率 約32.5%→約38.4%



区分	本支川	対策内容	市町村	区間	工 程		
ぐん 減らすための対策	神通川	堤防整備(堤上げ)	富山市(安野屋)	①	短期(R3~R7)	中期(R8~R14)	長期(R15~R29)
			富山市(有沢上流)	②	100%	100%	
			富山市(牛島)	③	100%	100%	
			富山市(草島)	④	100%	100%	
			富山市(岩瀬)	⑤	100%	100%	
		堤防整備(拡幅)	富山市(有沢下流)	⑥	100%	100%	
			富山市(玉橋)	⑦	100%	100%	
			富山市(添島)	⑧	100%	100%	
		河道掘削	富山市(草島)	⑨	65%	100%	
			富山市(田刈壁)	⑩		100%	
			富山市(玉橋・安野屋)	⑪		100%	
			富山市(荒瀬)	⑫			100%
		急流河川対策D 事業費 大	富山市(玉橋)	⑬	100%		
			富山市(成子)	⑭	100%		
			富山市(添島)	⑮	100%		
			富山市(新保)	⑯	25%	100%	
			富山市(大久保)	⑰		100%	
			富山市(中神通)	⑱			100%
ぐん 減らすための対策	井田川	河道掘削	富山市(小泉)	⑲		100%	
			富山市(小泉)	⑳		100%	
	熊野川	堤防整備	富山市(高善寺)	㉑		25%	100%
			富山市(高瀬)	㉒			100%

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。



神通川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～上流・下流が一体となった浸水被害解消のための流域治水対策の推進～

戦後最大洪水等に対応した
河川の整備（見込）



整備率:73.7%

（概ね5か年後）

農地・農業用施設の活用



1市町村

（令和4年度末時点）

流出抑制対策の実施



8施設

（令和3年度実施分）

山地の保水機能向上および
土砂・流木災害対策



治山対策等の
実施箇所 **17箇所**
（令和4年度実施分）
砂防関係施設の
整備数 **0施設**
（令和4年度完成分）
※施行中 13施設

立地適正化計画における
防災指針の作成



0市町村

（令和4年12月末時点）

避難のための
ハザード情報の整備



洪水浸水想定
区域 **10河川**
（令和4年9月末時点）
※一部、令和4年3月末時点
内水浸水想定
区域 **1団体**
（令和4年9月末時点）

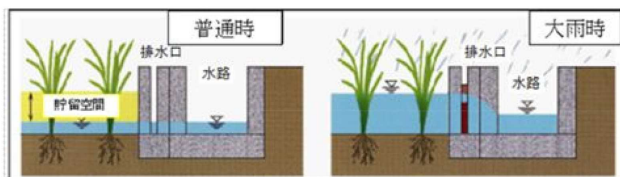
高齢者等避難の実
効性の確保



避難確保 洪水 **793施設**
計画 土砂 **137施設**
（令和4年9月末時点）
個別避難計画 **4市町村**
（令和4年1月1日時点）

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

〔水田貯留施設（富山市婦中地区）〕



水田の排水口に小さな穴のある堰板を設置し、大雨時に水田に降った雨を一時的に溜めることで流出量を抑制することにより、浸水被害の軽減を図る。

水田貯留は、神通川と井田川に挟まれた婦中地域で耕作者の皆様の協力を得て実施されている。

富山市では、この取り組みを継続・拡充するため、水田貯留に協力いただいた耕作者に対し、畦畔強化に必要な作業労務について助成を実施。

被害対象を減少させるための対策

〔立地適正化計画における防災指針策定
（富山市）〕

〔イメージ〕



立地適正化計画に基づく「安全なまちづくり」に向けた取組

富山市は、急流河川である常願寺川と神通川が流下している特性から、氾濫流は拡散するため居住誘導区域の多くが浸水想定エリアに含まれる。

今後も居住の誘導を図り、都市のコンパクト化を進めるためには、防災性の向上が必要。

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

〔水防災教育出前講座（岐阜県河川課）〕



〔荒城川、丹生川ダム〕

近年、頻発する洪水被害の状況や被害を防ぐための洪水対策を学ぶとともに、学校の横を流れる荒城川に建設された丹生川ダムを現地学習することで、ダムの役割や身近にある洪水対策を実感してもらう。

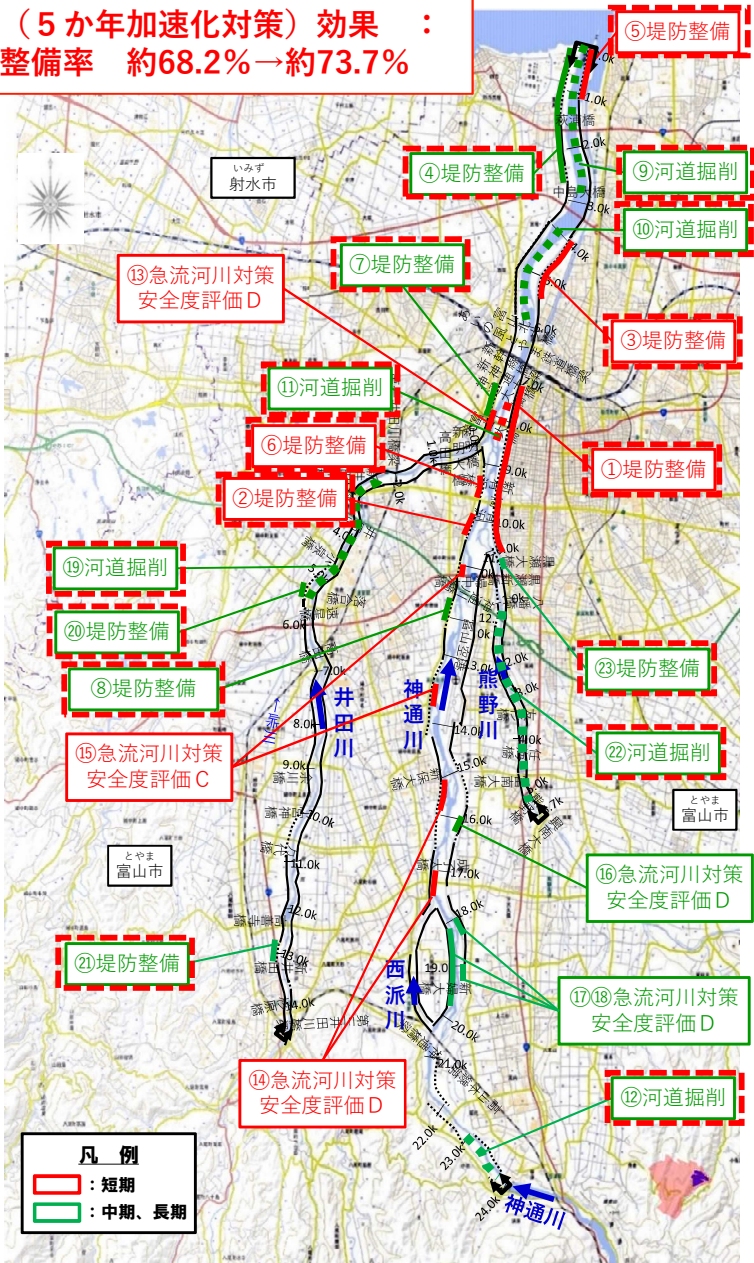
神通川水系流域治水プロジェクト【参考資料 量的整備のみの事業効果（国直轄区間）の見える化】

～上流・下流が一体となった浸水被害解消のための流域治水対策の推進～

※ 量的整備とは、洪水時に河川の水を安全に流すため、堤防の嵩上げや河床を掘削するなどの整備である。

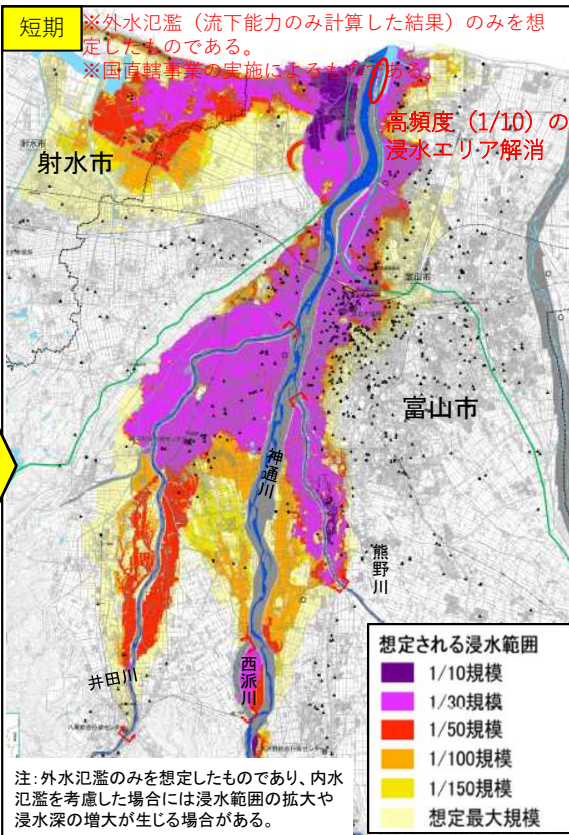
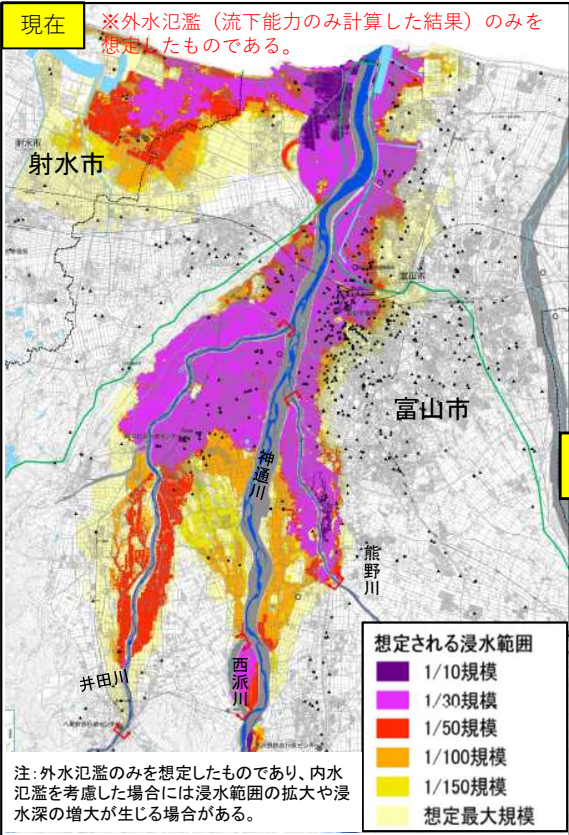
【量的整備】安野屋地区、有沢地区、牛島地区、岩瀬地区の堤防整備及び草島地区の河道掘削の推進。

短期整備（5 か年加速化対策）効果：
河川整備率 約68.2%→約73.7%



区分	本支川	対策内容	市町村	区間	工 程		
					短期(2023～2024)	中期(2025～2027)	長期(2028～2030)
ぐん、 減らすための対策	神通川	堤防整備(嵩上げ)	富山市(安野屋)	①	100%		
			富山市(有沢上流)	②	100%		
			富山市(牛島)	③	100%		
			富山市(草島)	④	100%	100%	
			富山市(岩瀬)	⑤	100%		
		堤防整備(拡幅)	富山市(有沢下流)	⑥	100%	100%	
			富山市(五福)	⑦		100%	
			富山市(浜島)	⑧		100%	
		河道掘削	富山市(草島)	⑨	65%	100%	
			富山市(田刈壁)	⑩		100%	
			富山市(五福・安野屋)	⑪		100%	
			富山市(葛原)	⑫			100%
ぐん、 減らすための対策	井田川	急流河川対策D	富山市(五福)	⑬	100%		
			富山市(成子)	⑭	100%		
		急流河川対策C	富山市(浜島)	⑮	100%		
			富山市(新保)	⑯	25%	100%	
		急流河川対策D	富山市(大久保)	⑰		100%	
ぐん、 減らすための対策	熊野川	河道掘削	富山市(中神通)	⑱		100%	
			富山市(小泉)	⑲		100%	
		堤防整備	富山市(高善寺)	⑳		25%	100%
ぐん、 減らすための対策	神通川	河道掘削	富山市(黒瀬・熊野)	㉑			100%
			富山市(黒瀬)	㉒			100%

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。



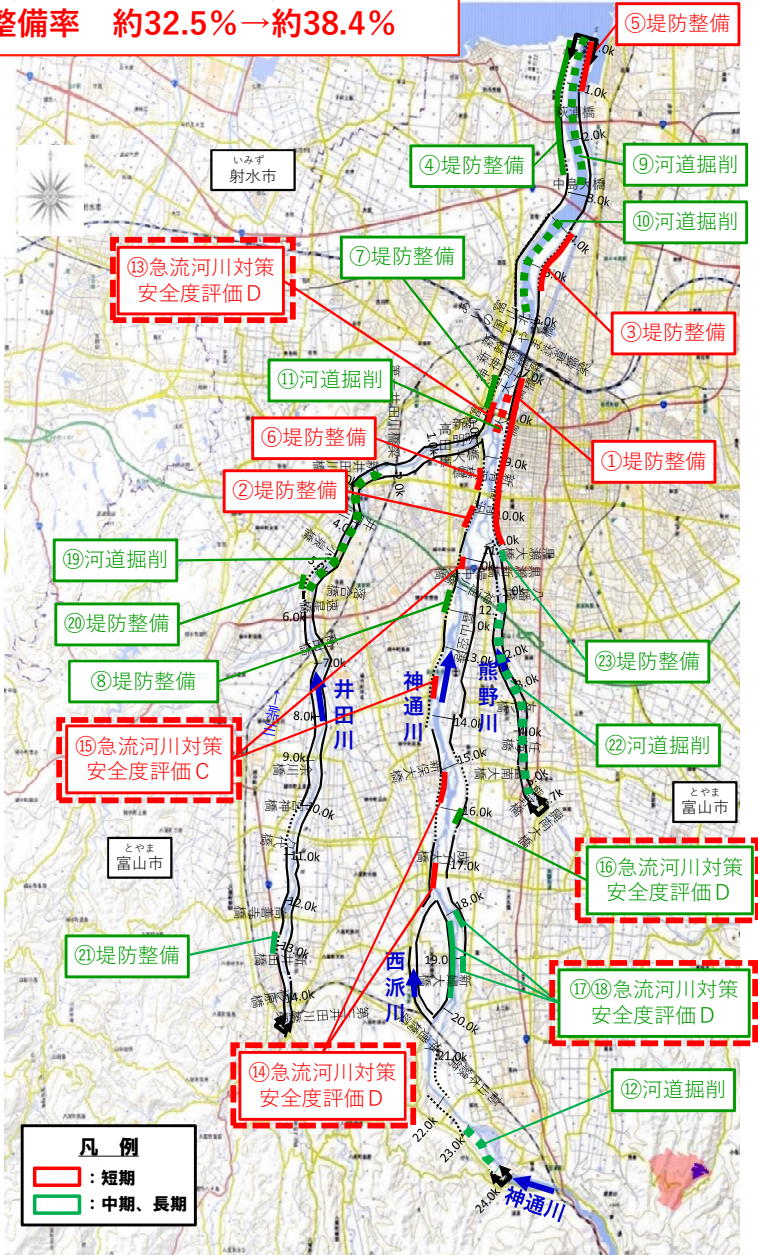
神通川水系流域治水プロジェクト【参考資料 質的整備のみの事業効果（国直轄区間）の見える化】

～上流・下流が一体となった浸水被害解消のための流域治水対策の推進～

※ 質的整備とは、浸透や侵食から堤防を守るため、堤防自身を強化するための整備のことである。

【質的整備】成子地区、五福地区、添島地区の急流河川対策の推進。

短期整備（5 か年加速化対策）効果：
質的整備率 約32.5%→約38.4%



区分	本支川	対策内容	市町村	区分	工 程		
					短期(R3～R7)	中期(R8～R14)	長期(R15～R28)
ぐ、 減らすための対策	神通川	堤防整備(渠上1F)	富山市(安野郷)	①	100%		
			富山市(有沢上流)	②	100%		
			富山市(牛島)	③	100%		
			富山市(草島)	④	100%		
			富山市(岩島)	⑤	100%		
		堤防整備(拡幅)	富山市(有沢下流)	⑥	100%		
			富山市(五福)	⑦	100%		
			富山市(添島)	⑧	100%		
		河道掘削	富山市(草島)	⑨	100%		
			富山市(田刈壁)	⑩	100%		
			富山市(五福・安野郷)	⑪	100%		
			富山市(基度)	⑫	100%		
ぐ、 減らすための対策	井田川	河道掘削	富山市(小泉)	⑬	100%		
			富山市(小泉)	⑭	100%		
		堤防整備	富山市(高善寺)	⑮	100%		
			富山市(高善寺)	⑯	100%		
		河道掘削	富山市(黒瀬・熊野)	⑰	100%		
			富山市(黒瀬)	⑱	100%		
		堤防整備	富山市(黒瀬)	⑲	100%		
			富山市(黒瀬)	⑳	100%		
		河道掘削	富山市(小泉)	㉑	100%		
			富山市(小泉)	㉒	100%		
		堤防整備	富山市(高善寺)	㉓	100%		
			富山市(高善寺)	㉔	100%		

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

